

生活困窮者自立支援制度人材養成研修

【国研修】就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修オンデマンド配信

講義④『就労支援を通じた地域づくりについて』

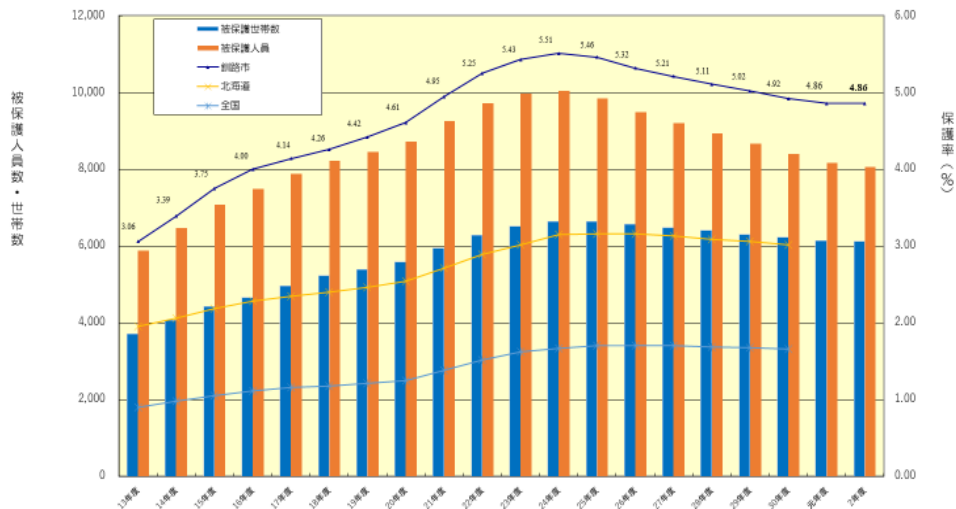
～かけがえのない私という実存を獲得する地域を～

(一社) 釧路社会的企業創造協議会

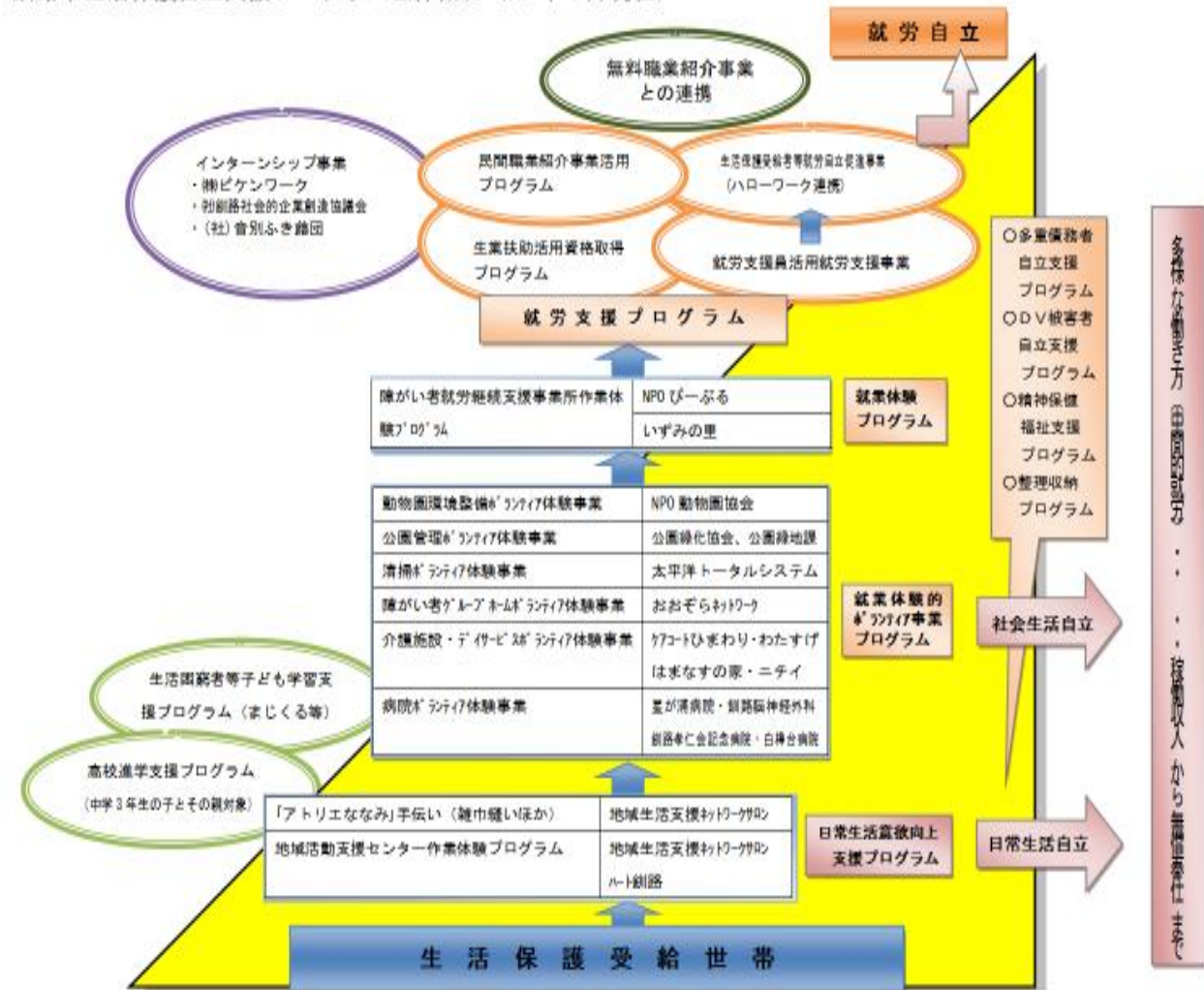
代表理事 櫛部武俊

(釧路市・釧路管内生活相談支援センター-らしごとセンター長)

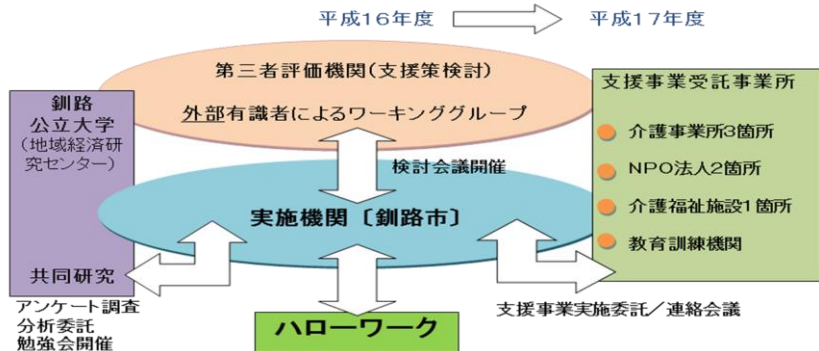
稼働能力のall or nothing・自己完結型から地域に拓かれる自立支援釧路モデル



釧路市生活保護自立支援プログラム全体概況 (R3年4月現在)



全体構図(策定と推進)



多様な働き方(労働形態)の... 稼働収入から無償で働かせます

オッチャンたちの誇り



- 俺、少しずつだけど、変わってきたかもしれない。人生いつでもやり直せるって思えるようになってきた

(ボランティアリーダー)

- 利用者のおじいちゃんから「いつもありがとう」って言われたの。実は、私とそんなに年はかわらないんだけどね。こんな私でも役立っているって思ったら嬉しくてね

(介護施設ボランティア)

- 疲れて帰ってきて、夜眠れるようになったんです。朝起きてみて気づくんですよ。夜眠れたことがこんなに良いものなんだって。私身体が動く限りやりますよ。

(公園管理ボランティア)

【支援】
ケースワーカー・
民生委員・パーソ
ナルサポーター
など

【支援】
地域・事業所・
関係機関
など

社会生活自立



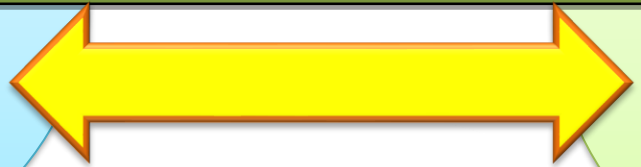
就労自立



日常生活自立

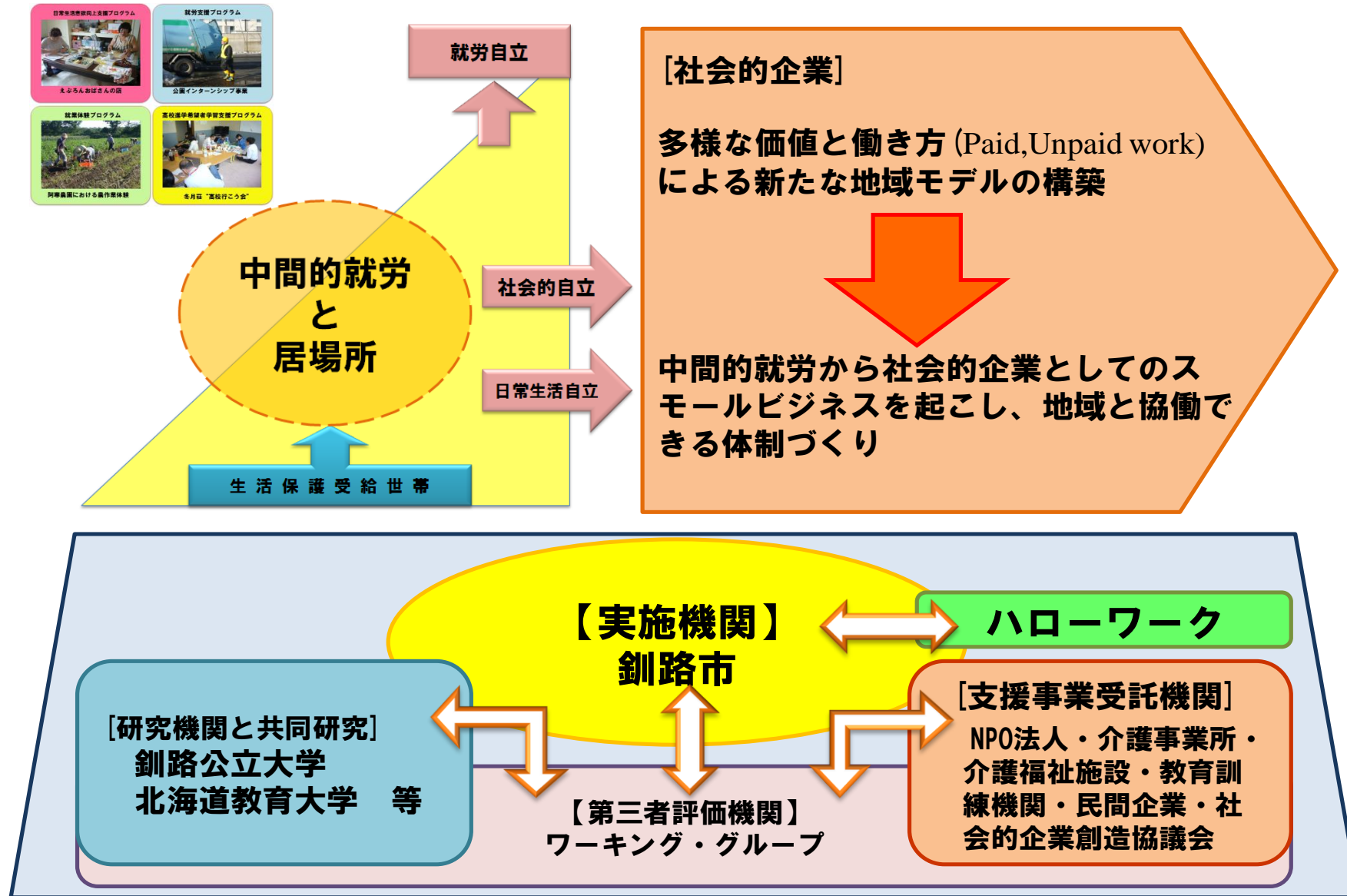


かけがえのない私と
居場所づくり(ハブ)



新しいケアの試み

“居場所づくりから地域づくり”への試み



生活困窮者自立支援事業について

H26年度まではモデル事業として実施していたが、平成27年4月に「生活困窮者自立支援法」が施行され、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業等の事業を実施し生活困窮者の支援を行っている。

実施主体は福祉事務所設置自治体。直営のほか、民間団体への委託も可能。

実施中！

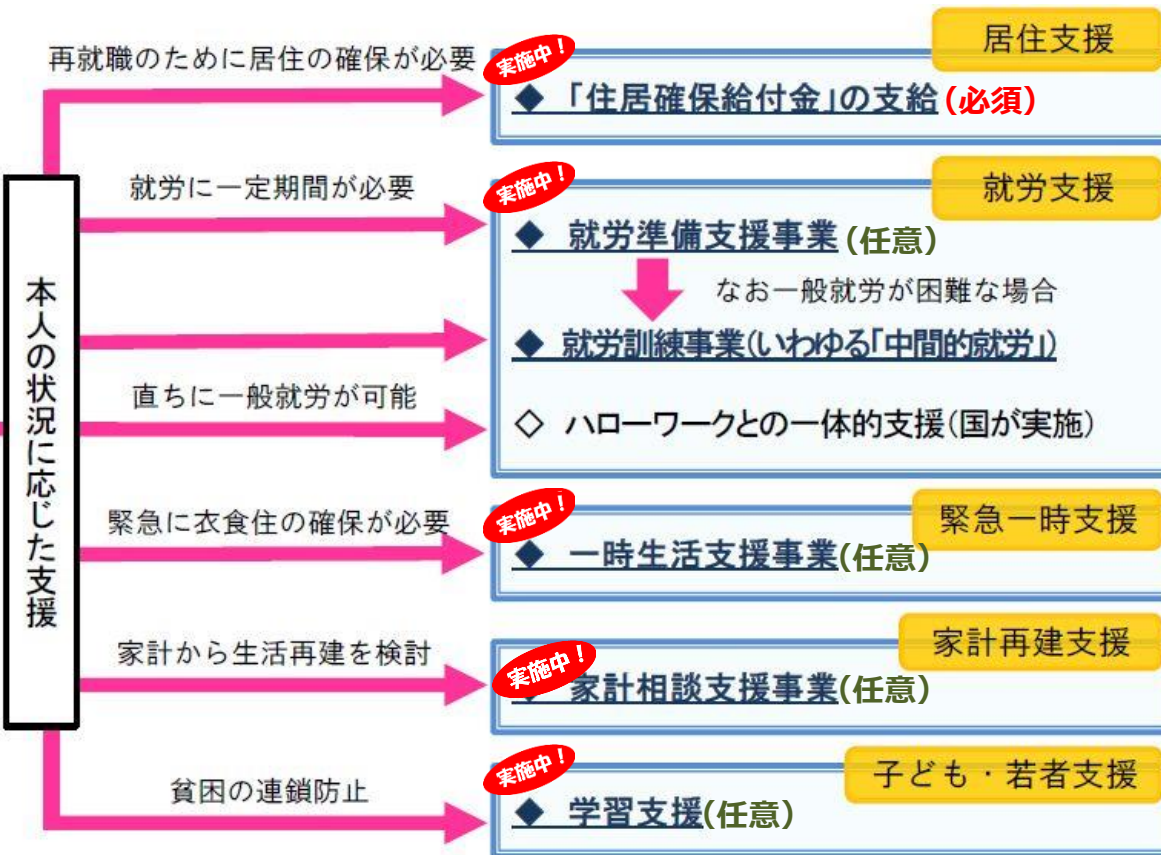
◆ 自立相談支援事業 (必須)

【期待される効果】

- ① 訪問支援を含め、生活困窮者を早期に把握、早期に支援
- ② ワンストップ型の相談窓口として、情報とサービスの拠点として機能
- ③ 複合的な課題を有する生活困窮者に包括的・継続的に対応
- ④ 地域ネットワークの強化など地域づくり

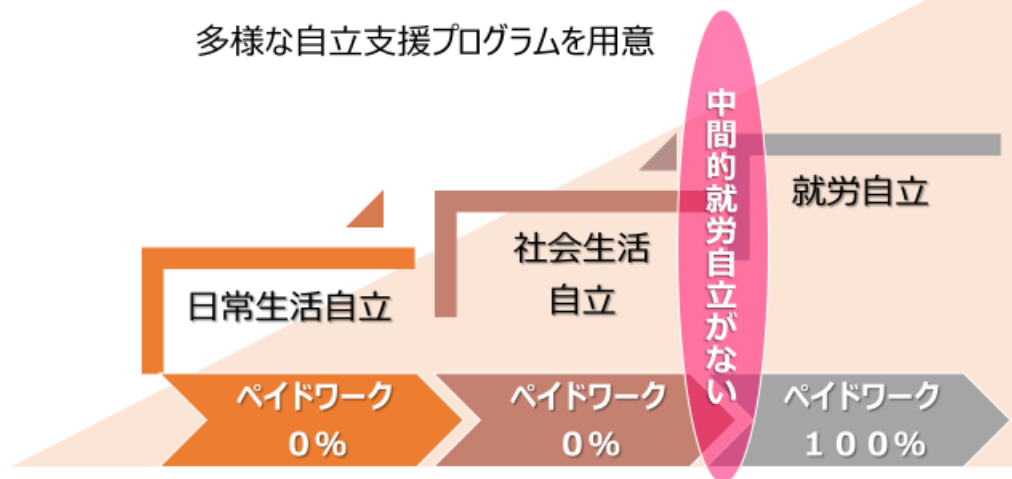


H25年度より、生活相談支援センター「くらしごと」で実施



釧路モデルの分析

ただちに就労困難、あるいはケースワークだけでは就労困難な生活保護受給者を対象にご本人の「ステージ」に応じた多様な自立支援プログラムを用意



漁網の整網作業



7年経て年間1300反編む、製造力。0円が240万円になった。地域で支えられた人が地域の課題を支える側に回っている。『私たちは無理しても納期を守る漁師に迷惑かけられない』『保護もらっていたが一カ月誰とも話さなかったよ。節約で11時に起きていたから腰も痛くなった。今は病気と付き合いながら朝からやってるよ』 整網会社社長 →『ここがなければ3年前辞めていた』



地域力強化の事業（モデル）をきっかけに

みはらかがやき食堂



お寺食堂



音別部会

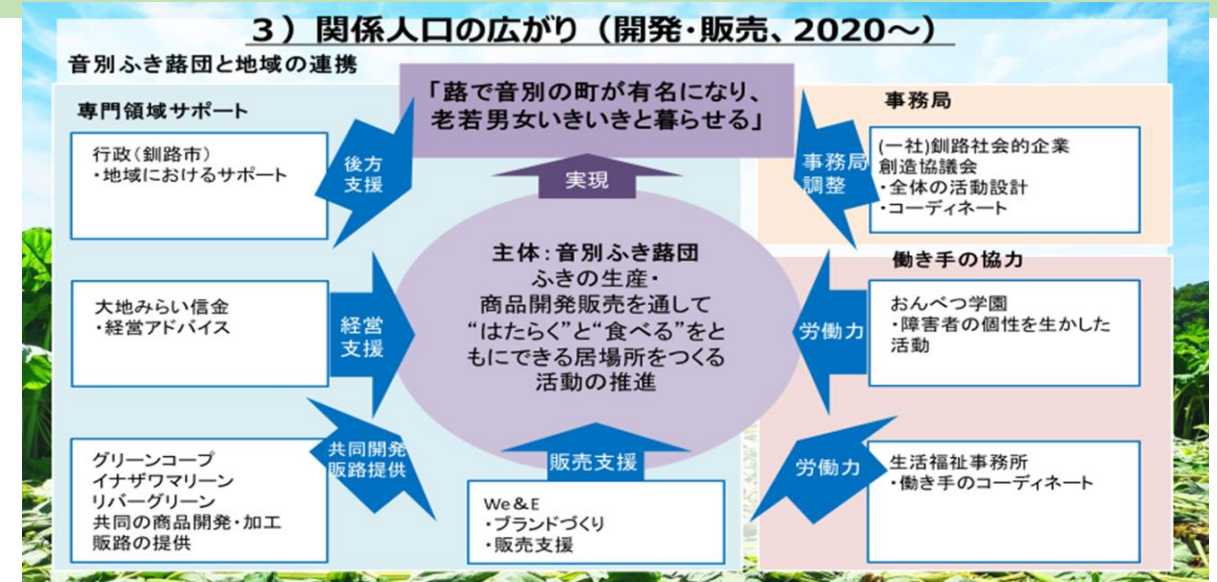


就労支援部会



『落で音別町が有名になり若い人から年配の方までどんな人も自信をもってイキイキと暮らせる（ビジョン）』

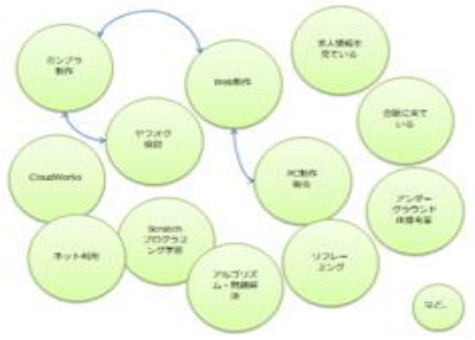
2017年5月一般社団法人音別ふき落団結成。生活保護受給者、生活困窮者、ひきこもりの若者 障害者、離農農家たちの手で落の生産・製造・流通・販売に取り組むことを目指している。中間的就労の場・居場所づくり



妻の死で気持ちが沈み生活困窮相談センターを訪れたAさん、店をたたんで生活保護を受け音別ふき落団に参加。作業であてにされ気力がよみがえった。80代の皆さんには介護要らずの交流サロンでもある。昔農園で働いていたから〇〇がわかるなどのその方の強み（ストレンクス）に気がつく



なんでもやってみるラボ (通称PC講座)



いなんくる

